



探究は、

終わらない。



# 総合図書館って、

## 本館 歴史が息づき知識が循環する場所

### 大きな本棚の中に入ろう

総合図書館は、東京大学に30ある図書館・室のうち、本郷キャンパスの中心となる図書館です。学生証があれば、本や雑誌を借りたり、閲覧席などの学習スペースを使ったりすることができます。学部・研究科の図書館・室と一緒にご利用ください。

噴水を前にした、本が並んでいるようにも見える建物——それが総合図書館の本館です。大きな金属製の扉をくぐり、真っ赤なじゅうたんを道しるべに進んでいくと、たくさんの本と明るいホール、広い閲覧室が皆さんをお待ちしています。古くてなんだか使いづらそう、と思った方も心配ありません。閲覧室ではUTokyo WiFiが利用できて、コンセントの付いた座席も用意しています。



**アンモナイト**  
大小さまざまな化石が隠れています。

**大階段**  
1階・2階・3階を一直線につなぎます。

**Point!**

### メディアプラザ

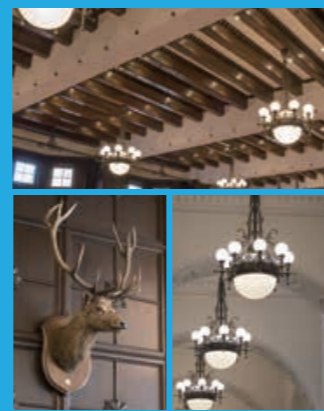


### 館内イチ豪華な空間でレポート作成

改修工事のため、記念室に仮住まい中のメディアプラザ。美しい内装に加え、インドのネルー首相から贈られた絵画や、徳川慶喜自筆の書まで！由緒ある品々に囲まれてECCSのパソコンを使えます。もちろん、プリンターやUTokyo WiFiも完備。文献収集から執筆・印刷まで、レポートや論文の作成をサポートします。

### 生まれたときの姿に戻りました

再オープンしたばかりの本館中央エリア。実は、天井の装飾やシャンデリアは、建物が完成した1928年当時のデザインを復元したもののです。メディアプラザの大きな鹿さんも、昔と変わらない優しいまなざしで、来館した皆さんを見守り続けています。



### 大閲覧室



### 先輩たちも使ってきた閲覧机でじっくり学習

天井の高い大閲覧室は、一歩足を踏み入れるだけで頭が冴えてきそう。閲覧机は90年物のアンティーク。お手入れをしながら大切に使用してきたもので、現在も快適な使い心地をめざして修理を進めています。パソコンを使わない、という方には静寂エリアがおすすめ。落ち着いた空間で学習できます。

## 最新刊から古典籍まで！ 総合図書館の「お宝本」

総合図書館にある本は約130万冊。東京大学の中でも最大の冊数を誇ります。閲覧席の近くにある本棚には、学習に役立つ本が並んでいます。すべての分野をカバーしているので、必要な1冊がきっと見つかるはず。最新刊を読みたい方は、新着図書コーナーへどうぞ。疲れたときには新聞や雑誌を片手に、ラウンジで休憩してみたいはいかがですか。

書庫には歴史の刻まれた本がぎっしりと詰まっています。解体新書や源氏物語、東海道中膝栗毛など、教科書で見たことがある本も少なくありません。中には、森鷗外が持っていた本や、紀州徳川家からいただいた本も。展示やデジタルアーカイブでも披露していますので、普段利用しない方もぜひ一度ご覧ください。

# どんなところ？

## 総合図書館の歴史

1877年の東京大学創設時に図書館は設置されましたが、現在の建物になったのは関東大震災後です。1923年の震災により全焼してしまった図書館の復興のために、国内外から多くの援助が寄せられました。その中で最大のものは、ジョン・ロックフェラー・ジュニア氏からの400万円（現在の価値で約100億円）の寄付でした。現在の総合図書館はその財源により新設され、1928年に完成、今年で92年目を迎えます。その間、時代に合わせた様々な改修工事が行われましたが、2015年に本館の全面改修と別館の新築工事が着工、2017年に別館が完成し、引き続き本館の工事を行っています。2018年5月には本館正面の入口が再オープン、工事完了までもう少しです！

## 人と学びが交差する新たな空間

### ライブラリープラザへようこそ

別館ライブラリープラザ（通称：LP）は、本館入口前に建つ噴水の真下に広がる、会話をしながら学習・研究ができるスペースです。噴水広場の左右には階段があり、どちらからでも地下に降りて入館できます。

館内は円形の明るい開放的なスペースで、大きなモニターや変わった形のテーブルが設置されています。天井を覆う天然杉は、計算された配置により音が響きすぎない設計となっていて、話し声がほどよく混ざり合う空間に。床にはコンセントがあり、延長コードも貸し出しています。プロジェクターもカウンターで申請すれば、壁面に投影して使うことができます。ここではどんな学び方も自由。もしかしたら、新しい発見に出会えるかも。



**天井の光**  
噴水の底が透明に。光が柔らかく届きます。

## 別館

**ホワイトボード**  
壁面をぐるりと1周。もちろん書き込みOK！

### ディスカッション



### 図書館で話せるって楽しい！

複数人で授業の課題や研究についてのディスカッションができます。UTokyo WiFiが完備されているので、パソコンを持ち寄ってグループワークをすることも可能。壁面のホワイトボードも使いながら、自由にとことん話し合えます！大人数のときは、予約制の大きいテーブルを事前におさえておく安心です。

### イベント



### 耳をすませば新しい世界が広がる

大きなモニター前のエリアでは、イベントや講習会が行われることも。開催時間中も、周りの学習・研究スペースは利用可能。学習しながらイベントの雰囲気味わうこともできます。これまでトークセッションからビブリオバトルまで、様々な企画が開催されました。イベントを開催したい！という方にはエリアの貸し出しもしています。

**Point!**

### 組み合わせは自由自在

館内には可動式のしずく型テーブルと丸みのある大きなテーブルを設置。しずく型テーブルを2つ合体させたり、大きなテーブルにしずく型テーブルをくっつけたりと、人数に合わせたレイアウトを作ることができます。可動式のホワイトボードもお試しあれ！





## 自動書庫

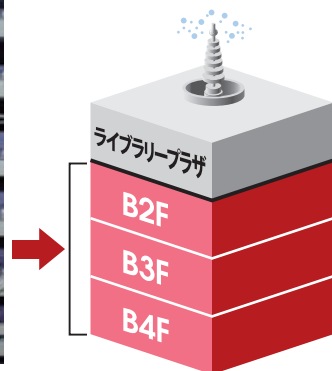
### 地下に巨大な書庫空間！

本館前広場の地下、ライブラリープラザのそのまた下に巨大な自動書庫が設置されています。その深さはなんと46m（ビルで15階！ウルトラマンもすっぽり入ります）、約300万冊収蔵可能です。

自動書庫には現在雑誌のバックナンバーや利用頻度が比較的低い本などを収めています。巨大な自動書庫ですが、利用は簡単。本館の蔵書検索用パソコンから呼び出すと、機械が自動的に本を本館総合カウンターまで運んでくれます。本館の本棚だけではない、総合図書館の膨大な蔵書を皆さんも効率よく使いこなしてくださいね！



©Shigeo Ogawa



## 学生さんに聞いた 総合図書館のココがいい！

### 1 意匠

大階段をはじめとして、随所に歴史を感じられる建物であること！（工学部・3年）  
入口から見る大階段や3階の閲覧室の荘厳な雰囲気すごい。（文学部・3年）

### 2 本

過去に出版された本も多くあるが、最新の本にもアクセスできる。（法学部・4年）  
多分野の専門書があり、横断的なアプローチをすることができる。（文学部・4年）

### 3 空間

落ち着いた雰囲気なので学習に集中しやすい環境だと思う！（法学部・3年）  
閲覧席がたくさんあるので、試験時などによく利用している。（工学部・3年）

## Information



Twitter 始めました!!

@UTokyo\_GenLib

総合図書館からのお知らせや  
イベント情報などを発信していきます！

### 総合図書館 Webサイト

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general>



開館情報や図書館の  
利用方法については  
コチラをチェック！

春のオリエンテーション  
開催します！

総合図書館の魅力や利用  
方法などを知るチャンス  
です。日程などの詳細は、  
Webサイトをご確認ください。

### 附属図書館 学生ボランティア ACS



ACSは、東京大学附属図書館で活動する学生ボランティア団体です。図書館の新しい活用のしかたを提案したり、分野を越えた知の交流が生み出せるようなイベントを企画したりしています。

東大 ACS

## 開館時間

平日 8:30-22:30 (8・3月 8:30-21:00)  
土・日・祝 9:00-19:00 (8・3月 9:00-17:00)  
※月に1度、本館・別館それぞれに閉館日があります。  
開館カレンダーはWebサイトをご確認ください。

## アクセス

